

リーディングDXスクール事業【実践事例】

矢板市立矢板中学校

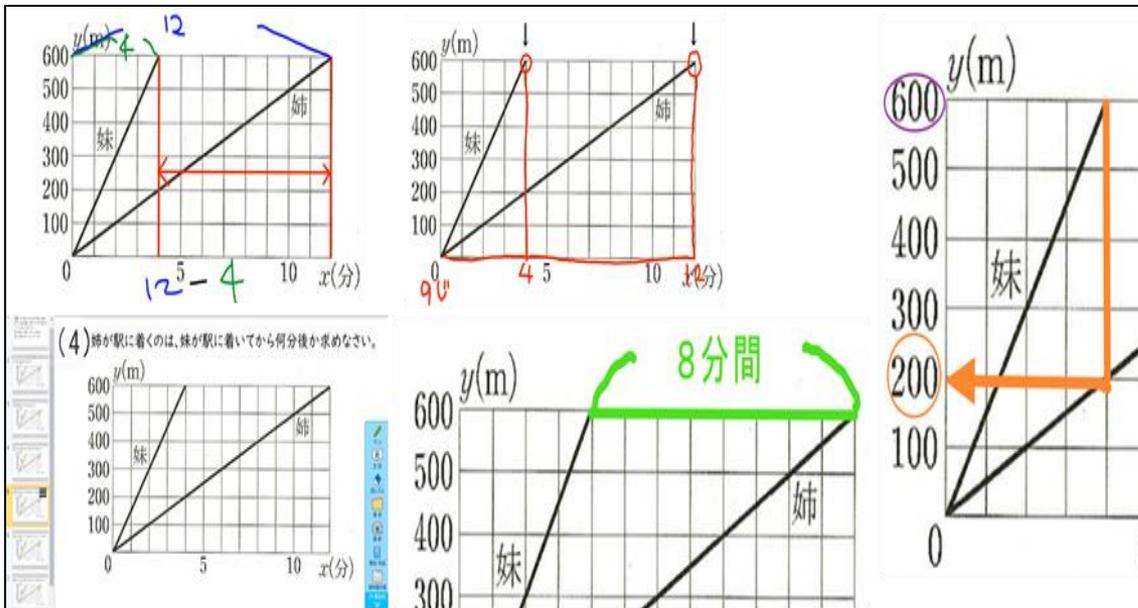
【取組内容①】グラフを用いて比例の問題を解決する。

【実践の目的】

数学の授業で、グラフを用いて比例の問題を解決する場面で、考え方や解き方を共有する。

【実践内容】

身のまわりにある比例のついての問題を考える際に、グラフを利用すると簡単に解決することができることがある。そこで、ICT機器を利用することで、色を分けたり、自由に説明を書き込んだりと視覚的な解決や説明が容易になるため、情報の共有化が期待できる。自分の考え方を共有したり、他の人の考え方と比較したりすることで、主体的な活動が期待できる。



【実践を振り返って】

- ・複数枚のグラフのコピーを配布し、自由に書き込める点。
- ・間違えてもすぐに消せる点。間違いを恐れる子たちが、手を付けやすい。
- ・色を分けて書き込める点。プリントと色ペンだと、間違えたときに見づらくなってしまう。